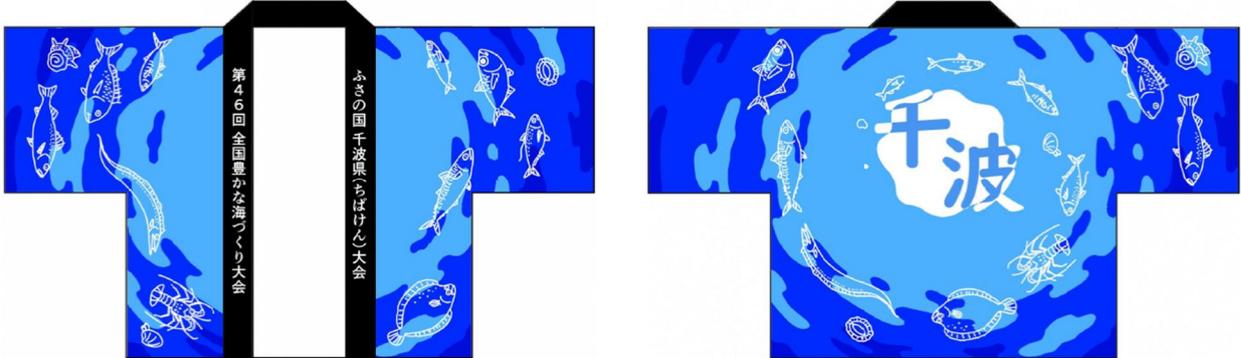


## (1) 最優秀賞

### 大会テーマ

<h1>「つくろうよ 命が謳う 明日の海」</h1>	
審査員講評	応募者
<p>未来の海を皆で力を合わせてつくっていかうという明確なメッセージが感じられ、大会テーマとしてふさわしい。「つくる」が大会名の「海づくり」と響きあい、つくり育てる漁業のイメージにも繋がる。呼びかける形で始めることで、誰もが海を守り未来へ継承していく当事者であることを意識させる効果をあげている。「命が謳う」で、多くの生命が溢れる豊かで美しい海をうまく表現している。</p>	<p>埼玉県 60代 酒井 淳市</p>

### 大会専用コスチュームデザイン

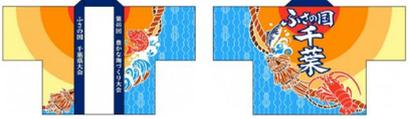
	
審査員講評	応募者
<p>海の中から太陽を見上げているイメージの構図は、唯一無二で斬新。色彩もあえて青色のグラデーションのみを使用し、チーバクんの赤色と補色対比になるような効果的な配色。千葉県豊かな海の水産物は、白色の輪郭線のみで描かれ、全体的にシンプルに仕上がっているが、見る側に強い印象を与える。</p>	<p>栃木県 30代 齋藤 航</p>

## (2) 優秀賞

大会テーマ 3点

「描こうよ 豊かな海の 未来地図」	
審査員講評	応募者
大会の基本方針に一致した内容である。「地図」という想像しやすい言葉を使って呼びかけていることで、みんなで未来の海を描いていこうというイメージが伝わってくる。	山梨県 60代 鈴木 健之
「とどけよう 輝く海を 未来へと」	
審査員講評	応募者
素直な表現で、誰にでもわかりやすく、幅広い年代にメッセージが伝わりやすい。豊かで美しい海を次の世代へ届けていきたいという意志が強く感じられる。	鎌ヶ谷市立第三中学校1年生 細川 紗良
「碧き海 未来へつなぐ 命の環」	
審査員講評	応募者
「命の環」という表現が良い。多くの生物の生命の循環が未来へ続いていくことを感じさせる。海の資源を有効に活用していくというイメージも持てる。「碧き海」で始まるのも印象的である。	宮崎県 40代 三輪 優子

大会専用コスチュームデザイン 3点

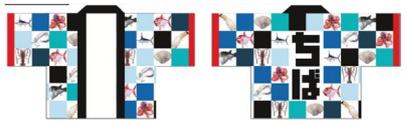
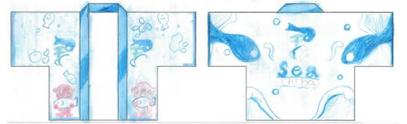
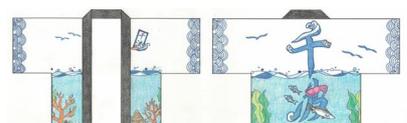
					
審査員 講評	千葉県で獲れる代表的な魚介類を躍動的に配置し、大漁旗のような力強い印象は見る側に強いインパクトを与える。太陽の暖色と海の寒色の対比も効果的で、さりげなく落花生が紛れている遊び心もユニーク。	審査員 講評	シュールにディフォルメされた魚群で表現したデザインは、何か不思議で壮大なものを感じさせ、高校生の発想力に驚嘆。多様な生物を育む海の豊かさや生命力など、見る側のイメージーションをかき立てるアート作品。	審査員 講評	法被の背面に描かれたデザインに、小学生のユニークで自由な発想が象徴されている。千葉県の豊かな水産物を効果的に配置するなど、考えぬかれた完成度の高い作品に仕上がっている。
応募者	千葉県 20代 南 咲希	応募者	県立東金高等学校 2年生 松山 美喜	応募者	旭市立滝郷小学校 6年生 木内 那波

### (3) 佳作

大会テーマ 5点

「豊かなる 命育む 青い海」	応募者
	宮崎県 40代 小島 慶祐
「夢託す 豊かな海が 育む未来」	応募者
	神奈川県 40代 坪井 敦憲
「はぐくもう 命の鼓動が 満ちる海」	応募者
	愛知県 20代 渡辺 凜
「守り継ぐ 宝の海の きらめきを」	応募者
	市川市 50代 加藤 邦夫
「生命の 源つくる 青い海」	応募者
	北海道 60代 阿部 武仁

大会専用コスチュームデザイン 5点

					
応募者	大阪府 60代 中井 洋子	応募者	山梨県 40代 波田 峰	応募者	市原市立石塚小学校 6年生 佐々木 愛
					
応募者	県立佐原白楊高等学校 3年生 堤 麻祐	応募者	県立東金高等学校 2年生 簾尾 彩乃		